

リウマチ・膠原病科

【はじめに】

5日間の限られた期間で行われる本臨床実習は、モデル・コア・カリキュラムに準拠し、かつクリニカル・クラークシップ(診療参加型臨床実習)を導入することにより、効率よく実習を行うことを目指します。クリニカル・クラークシップの目的は、「学生が実際の診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当することによって、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶこと」です。単なる知識・技能の習得や診療の経験にとどまらず、実際の医療現場における判断や対応、および治療に関する思考(臨床推論)を養うことを目標としています。

【実習目標】

1. 病歴の聴取や患者の診察など、内科診療の基本を学習する。
2. 患者の抱える医療上の問題点を理解し、それについて考察する。
3. 問題指向システム(POS: problem oriented system)について理解し、実行する。
4. 臨床検査、画像診断、尿検査などを学習し、検査データを解釈する。
5. リウマチ・膠原病疾患に特徴的な身体所見について学習する。

【実習内容】

コア・カリキュラムの記載内容について、実習を通じて学習します。患者を通じて学習できない範囲は、小講義ならびに自己学習で補うようにして下さい。

【病棟実習】

1. 最低1人の入院患者を受け持ち、診療チームの一員として患者の診療に参加して下さい。指導医の指導・監視の下に診察、治療計画の策定、診療記録の記載などを行います。
2. 受け持ち患者の病歴要約を作成して下さい。具体的には指導医、病棟主治医の指導のもとで、主訴、病歴などの問診、身体所見、検査成績、入院後経過、考察を整理します。作成したレポートは金曜日に教授室(秘書 事務)に提出して下さい。

【評価方法】

臨床実習では知識・技能および医師・社会人としての基本的態度を修得することを求めています。リウマチ・膠原病科としては、知識・技術として、実習目標に掲げた5つの点について、以下の配分で評価します(1. 20%, 2. 25%, 3. 15%, 4. 20%, 5. 20%)。また、医師・社会人としての基本的態度としては、積極性、時間厳守、患者さんへの姿勢、自己学習の観点に注目し、これらを病棟実習、レクチャー、プレゼンテーションを通じて包括的に評価し、課題提出、プレ

ゼンテーション、および質疑応答において指導医が採点します。

【集合場所】

月曜日の 9:00 に臨床管理棟 1 階 リウマチ膠原病科 教授室に集合して下さい(月曜日が祭日の場合は、火曜日の 9:00 に 6 階西病棟に集合)。

【担当教官】

杉山 英二 (教授) 平田 信太郎 (講師) 吉田 雄介 (助教)

【緊急連絡先】

リウマチ・膠原病科 平田 信太郎 TEL: 082-257-5539(リウマチ・膠原病科医局)・PHS4164
TEL: 082-257-5555(病院代表)

リウマチ・膠原病科メールアドレス hrheum@hiroshima-u.ac.jp

【注意事項】

1. 回診時に患者の問題点をリストアップ、レポートはメールで送付(火曜日夕までに)
→学生発表(水曜日午前中) メールアドレス rareport@hiroshima-u.ac.jp
2. 2名で1症例を担当、カルテ記載、(病歴、身体所見、レントゲン、プロブレム)
→金曜日午後に担当症例の発表(2人で分担し、5分でプレゼンすること)、症例レポートを作成し、プレゼン終了後に提出すること。

【連絡先内線・PHS】

杉山 (4582), 平田 (4164), 吉田 (3660),野島 (2104),小田(4127), 舟木(3541), 大井(3513), 倉信 (4124), 教授室(内線 5539),医局(内線 6978)

【実習に備えて、特に理解しておくべき疾患】

関節リウマチ, 全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、ベーチェット病、IgG4 関連疾患

【実習の日程】

	午前	午後
月曜日	☆9:00 臨床管理棟 杉山教授室 オリエンテーション(杉山) →6西病棟に移動 →学生のための教授回診(杉山) 入院患者の課題を学生に振り分け →担当患者紹介(吉田)	<病棟実習> 担当患者の病歴、身体所見、検査データの整理とプロブレムリストの作成
火曜日	☆9:00 6西病棟 ミニレクチャー 関節の診察法(病棟) 病棟でカルテ記載、テーマ準備	<病棟実習> 担当患者の病歴、身体所見、検査データの整理とプロブレムリストの作成 ☆16:30 入院棟 5階西カンファルーム 呼吸器・膠原病合同カンファレンス ☆医局長回診(平田)
水曜日	☆9:30 臨床管理棟 杉山教授室 入院患者の課題に関して学生発表	<病棟実習> 担当患者の病歴、身体所見、検査データの整理とプロブレムリストの作成 テーマ発表の準備
木曜日	☆9:00 6西病棟 病棟実習	☆14:00 臨床管理棟 1階 101 受付 ミニレク 膠原病疾患とステロイド(小田) ☆15:00 診療医棟 1階 101 内科受付前 関節エコーの実際(湯川、近藤) ☆16:30 診療棟 1階東カンファルーム DI, 症例検討会
金曜日	☆9:00 6西病棟 病棟でレポート作成、プレゼン・ テーマ発表準備 ☆病棟実習でカレテ整理	☆14:30 担当症例のプレゼンとテーマ発表(平田) 16:00 レポート提出(杉山教授室)